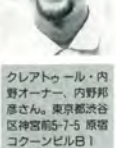
ブローなしでも毛先がシャキッとするクリニックパーマとは?

サラサラッと風になびく髪は、女の子の憧れ。でも、くせっ毛の人にとっては、夢のまた夢という感じです。くせっ毛独特の悩みをザッとあげてみると、雨がふると髪全体がふくらんで、もったりする。ブラシやコームがからまって、毛先までサッと通らない。ツヤがなくごわついて、髪の表面がパサパサしている。全身のバランスと比べて頭のボリュームが重い……etc。

そしてなにより問題なのが、毎日のスタイリングに時間がかかりすぎてしまう点。せっかく、ていねいにブローしても、時間がたって鏡をのぞくと、こんなはずじゃなかったのに……というスタイルに変わっています。そんなショックは、くせっ毛でなければわかりません。

そこで注目したいのが、髪の根元から毛先までをシャキッとしたまっすぐな髪に仕上げる"クリニックパーマ"です。このパーマは、従来のストレートパーマのようにストレートボードなどもいっさい使わず、リキッドだけで仕上げていくのが、特徴のひとつ。また、パーマの持続性が半年から1年も続くというところもミソです。

くせっ毛特有のボリュームをスッキリとタイトにおさえ、しかも、ツヤツヤに仕上がるというパーマ。話を聞いているだけでも、わくわくしてきそうな情報ですが、はたしてその効果はどうなのでしょう。ここではまず、くせっ毛に日ごろ悩んでいる3人の読者が、実際にクリニックパーマに挑戦してみました。

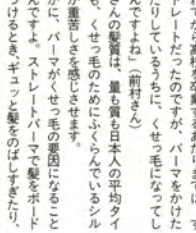


クレアトゥール・内野オーナー、内野邦彦さん。東京都渋谷区神宮前5-7-5 原宿コクーンビル8F 1 ☎03-486-8182

LONG 髪全体のボリュームが消えて、素直なストレートへ

前村美穂さん 25歳・OL。高校卒業後ぐらいから軽いくせっ毛に。「雨の日は髪全体がふわっと広がるのが悩みです」

クリニックパーマに挑戦! 不安と期待で複雑な気分です



髪の内部へとじっくり浸透する。たんぱく質の原液をつけます。液がしたたるほど充分に。

「生まれてから高校を卒業するあたりまでは、ずっとストレートだったのですが、パーマをかけたりとったりしているうちに、くせっ毛になってしまったんですよね」(前村さん)

前村さんの髪質は、量も質も日本人の平均タイプ。でも、くせっ毛のためにふくらんでいるシルエットが重苦しさを感じさせます。

「たしかに、パーマがくせっ毛の悪因になることもあるんですよ。ストレートパーマで髪をボードに張りつけるとき、ギュッと髪をのばしすぎたり、ふつうのパーマで髪を必要以上にしごきながらロッドに巻きこんだりすると、髪にヘンなくせがつくことがあるようです。パーマ液を選ぶことも大切です。まずは、たんぱく質の原液に液がしたたるほどつけて、1液をつけます。そのあと、コーミングして分入り、その後、髪をすすいで、パーマのかかり具合をチェック。ブラシを使わなくても毛先までサラサラのストレートヘアにサラサラのストレートヘアになります。

このあとさらに、2液をつけて洗髪します。

「仕上がりは、どんなに絶望的なくせっ毛でもサラサラのストレートになります。日ごろのスタイリングも、ドライヤーでザッと乾かしてブラシでとかすだけでいいんです。いろんなアレンジでストレートの感触を楽しんでください」

性にすぐれた樹脂をはじめとする15種類の成分でつくられています。また、ストレートの1液をつける前に、髪の成分に近い高たんぱく質の原液を髪全体につけて、パーマのダメージを減らします。

「たんぱく質の原液をつけてから、いったん成分を定着させるために、ドライヤーで乾かします。

それからストレートの1液をつけて、60度のスチームに30分入ります。こうすることで、ストレート液がまんべんなく髪の内部へと浸透し、また柔らかでツヤツヤとした髪に仕上げることができるんですよ。それから、ぬるま湯のシャワーでていねいに髪をすすぎます」